

地域における男女共同参画を推進するためのプログラムデザイン

【事業名】学校の怪談…！？～受け継がれしジェンダーバイアスの呪い～

【位置づけ】第4次尼崎市男女共同参画計画

1-1 市職員・教職員への男女共同参画に関する研修

1-2 学校園等における男女共同参画に関する研修

問題現状 周囲の大人の言動により、幼少期から無意識に身につくジェンダーバイアス。子どもが固定的な性別役割分担意識にとらわれることなく、自分らしく生きていけるように大人の意識改革が必要。

課題 子どもと関わる大人（保護者、保育・教育の場で働く人）が自らのアンコンシャスバイアスに気づくこと。ジェンダーバイアスを植えつけないために、性別で差をつけず、対個人として対応すること。家庭や職場内でもジェンダーの視点を持ち、共有と改善を図る。※今回は小学校・学童教員に限定するが、今後は対象を変えて広く啓発予定

事業目的 子どもが周囲の大人からジェンダーバイアスを植えつけられることなく、自分らしく生きていけるジェンダー平等な社会を目指す。

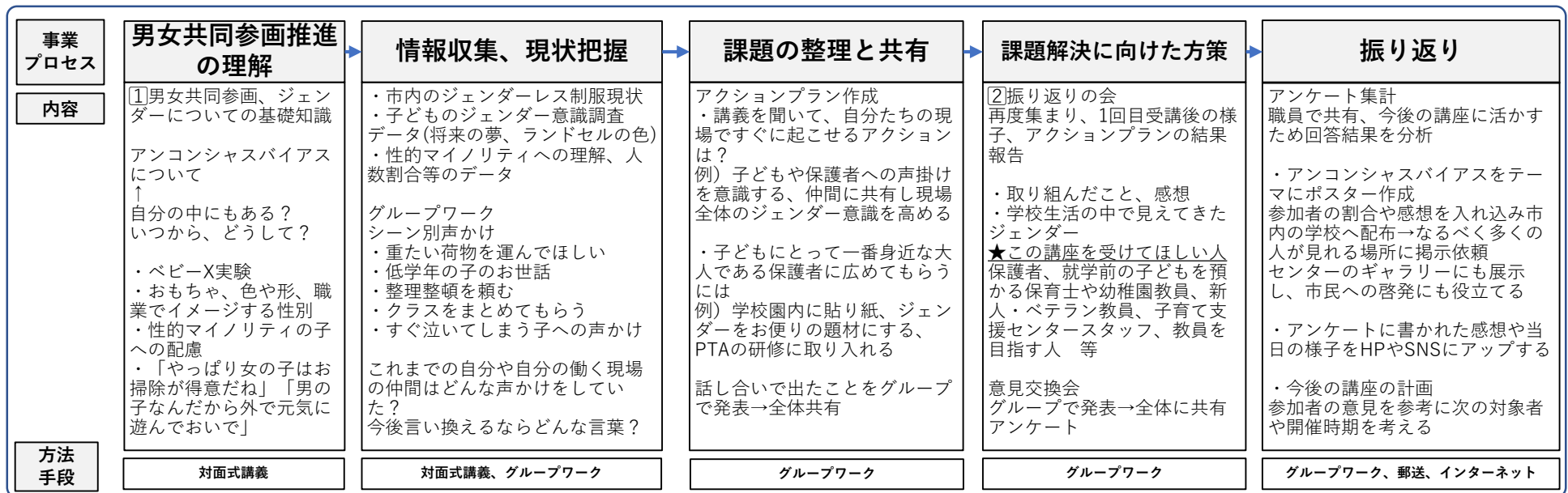
対象定員

市内の学校や学童で働く教員 40人

事業目標 ①対象の大人が男女共同参画やジェンダーについての基本的知識を得る。②自分の中の偏見に気づき無意識の継承を防ぐ。③子どもたちが自分の好きを表現できる環境をつくる。

評価指標

定員充足率70%、アンケート満足度90%以上、アクションプラン達成率70%



連携先 尼崎市教育委員会、児童課等、市内小学校41校へ広報
参加者を募集する

期間回数 2回（講義、グループワーク）
時期：7月、8月初旬の平日午後（夏休み期間、お盆前）

予算 50,000円（講師謝金、広報）

実施体制 運営 センター職員、講師（ジェンダーの知識がある教員）